

科学研究費助成事業（科研費）は、人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に進展させることを目的とする「競争的研究費」であり、ピア・レビュー（注1）による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

（注1）ピア・レビュー...専門分野の近い研究者による学問的意義についての評価。8千人を超える研究者が、書面審査、合議審査及びヒアリングに関わっています。

科研費では、若手研究者の自立を支援する「若手研究」や、学術の体系・方向の変革・転換や挑戦的な研究を支援する「学術変革領域研究」や「挑戦的研究」など、研究の段階や規模に応じて、応募・審査をしやすいするため、様々な「研究種目」が設定されています。

* 応募スケジュール（注2）

令和4年度公募から応募及び内定時期が早期化されています。例年4月以降に順次、文部科学省及び日本学術振興会から次年度科研費の「公募要領」が公表され、公募が開始されます。

応募者は、【科研費 電子申請システム】により応募手続きを行います。

（注2）研究種目によって、時期が異なります。詳細は公募要領に記載されています。

【参考】科研費主要種目のスケジュール（予定）

・特別推進研究、学術変革領域研究(A・B)、基盤研究(S)

4月中旬～6月中旬公募、翌年1月上旬以降、順次結果通知

・基盤研究(A・B・C)、若手研究、挑戦的研究

7月中旬～9月中旬公募、翌年2月下旬以降、順次結果通知

* 科研費の応募についてはこちらのHPから（注3）

【科研費 電子申請システム】

<https://www.shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html>

（注3）応募の際は事前にシステムにログインするためのID・パスワードの発行手続きが必要です。

詳細は所属部局の科研費事務担当係にお問い合わせください。

* 基金化について

年度にとらわれずに研究費の使用ができるよう、平成23年度に日本学術振興会に基金が創設されました。

それにより、基金化した種目では、複数年度の研究期間全体を通じた研究費が確保されているため、研究の進展に合わせた研究費の前倒し及び次年度使用など、会計年度にとられない研究費の柔軟な執行が可能となりました。

もっと詳しく知るには

・文部科学省 科研費HP https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm ・日本学術振興会 科研費HP <https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html> ・九州大学 科研費HP <https://airimaq.kyushu-u.ac.jp/university-relations-only/kaken-oncampus/>

お問い合わせ先

・科研費の事務手続きについて 各部局の科研費事務担当係 ・科研費制度、事務手続き全般について
研究・産学官連携推進部 Grantサポート室 Grantサポート係 092-802-2386、2329 内線:90-2386、2329